

1 測る。



POINT

- ◎<タイルユニット>には床面積に合わせてカット出来るように、タイル間に目地がついています。端数がタイルサイズで割り切れるときは、<タイルユニット>自体をカットして使用します。※300タイプはカットできません。
- ◎10cm(または15cm)で割り切れなときは、50タイプや、16.5mmピッチのミゾがある<幅調整材>を使用すると便利です。

■障害物(排水溝や雨戸袋など)を除いたベランダ、バルコニーの床面積から、<タイルユニット>の必要枚数(1枚: 30×30cm)を割り出します。

2 並べる。

■一度、端から順に仮置きをして、全体の感覚をつかみます。



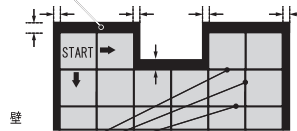
■仮置きで配置の確認ができた後、しっかりと固定するために、フックを「ハチン」と音がするまで押し込んでください。



POINT

◎気温変化による樹脂ユニットの伸び縮みを吸収させるため、<タイルユニット>の連結隙間や壁との間に、下図にある隙間をもうけてください。

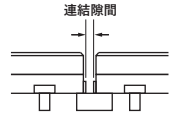
●周囲の壁との隙間 15mm以上



ユニット同士の連結部フック穴は長穴になっており、施工時のフックはめ込み位置を変えることで、隙間の調整ができます。

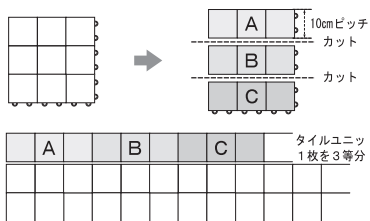
●タイルユニット間の連結隙間

冬場(気温10度未満)・・・連結隙間を完全(4mm)に開けてください。
その他(気温10度以上)・・・連結隙間を2mm開けてください。

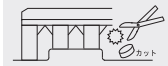


3 敷きつめる。

■端部の半端スペースに合わせて、<タイルユニット>をノコギリなどでカットし、パズルのピースをはめ込むように敷きつめます。

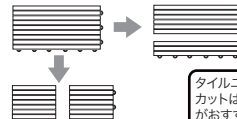


タイルユニット、幅調整材のカットは、樹脂用のノコギリがおすすめです。

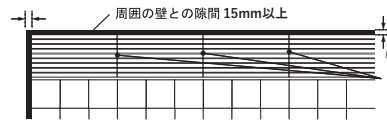


床面に凹凸がある場合は、<タイルユニット>の脚をニッパーなどでカットして対応(3mmまで)ができます。

■さらに細かなスキ間が気になる方は、カットした<幅調整材>を足すことでピッタリに配置できます。



タイルユニット、幅調整材のカットは、樹脂用のノコギリがおすすめです。



風の影響を受けやすい場所への設置については、ワイヤーでバルコニー手すりに端部を留めつける処理、あるいはブロックなどの重量物を置いて、飛散防止対策を実施してください。

安全・快適にご使用いただくために

設置に際しては

⚠警告

- 台風などの強風が予想される場合は事前に重しを載せるなどの対策を行ってください。
- 風圧により本商品が飛ばされ、ケガをしたり周囲の物を破損するおそれがありますので、以下の場所へは設置しないでください。
 - *高層住宅(16F以上)のベランダ/バルコニー *屋上階
 - *手すりの立ち上がり高さが3cm未満のベランダ/バルコニー
 - *手すりから風が吹き込むルーフバルコニー(格子やスリットなど腰壁手すり以外のもの)
- また、以下のような風の影響を受けやすい場所へ設置する場合は、手すり側に飛散防止部材をご使用ください。
 - *部分的にスリットなど風の吹き込むすき間のあるベランダ/バルコニー *ルーフバルコニー(腰壁手すり)
- 飛散防止部材は、必ずタイルユニットと連結してください。幅調整材と連結すると、性能が発揮されません。
- 飛散防止部材は、下部から風が入り込むと性能が発揮されません。よって、排水溝の上など、下部にすき間ができる場所には設置しないでください。
- 飛散防止部材は、長手方向には切断できません。切断すると切断面から風が入り込み、性能が発揮されません。
- 滑りによる転倒のおそれがありますので、以下のような常に水が掛かり、人が走るおそれのある場所などには設置しないでください。
 - *プールサイド *業務用浴室
- 本商品が破損したり、避難する際の妨げになったりしますので、以下のようなベランダやバルコニー以外の場所、また災害時の避難路を確保しておくよう法律で定められた場所へは設置しないでください。
 - *駐車場/ガレージ/駐輪場など、重量のある物が通ったり、留め置かれたりする場所
- 災害時の避難に必要な階下への避難口など

⚠注意

- 切断、敷設の際は、手袋や履き物を着用し、指の挟み込みや切断、手指の切り傷、または切り粉による目の負傷には十分注意して設置してください。●切断する際は、床面が傷つかないように合板などを敷いて作業してください。床面を傷つけますと水漏れの原因となります。●連結する際にはハンマーなど硬い物でたたかないでください。タイルが割れてケガをするおそれがあります。●設置後は、必ず残材の整理・整頓を行ってください。残材が残っていると排水溝に詰まったり、床面を傷つけることがあります。●集合住宅の管理組合などにより、ベランダ/バルコニーでのデッキ材の使用などが禁止されている場合があります。ご購入前に確認してください。

ご使用に際しては

⚠警告

- 樹脂が燃えて火災の原因となるおそれがありますので、以下のような本商品に火気類を近づける行為は絶対しないでください。
 - *本商品上でたき火
 - *本商品を直接加熱する行為(バーベキューセット、コンロの直置きなど)
 - *その他たばこの投げ捨てなど

⚠注意

- 台風などの強風時には、タイルユニットのめくれや飛散のおそれがあります。強風が予想される場合には、重しを載せるなどの対策を行ってください。
- 夏の高温下では表面が高温になり、素手で触れたり、素足で歩くとやけどをするおそれがあります。履き物を着用するなど十分ご注意ください。
- 雨や散水のあとは、タイル表面が滑りやすくなりますので、歩行には十分注意が必要です。
- タイルが割れた場合は速やかに清掃および交換してください。ケガや床の防水面を傷つける原因となります。また、防水面を傷めると、水漏れの原因となるおそれがあります。
- 少数で部分的に敷いた場合、急な飛び出しなどによりユニットがずれて、転倒するおそれがあります。
- 重い物を落とさないようにご注意ください。タイルが割れてケガをするおそれがあります。
- 素足で歩くとき足傷つけるおそれがあります。履き物を着用するなど十分ご注意ください。
- 樹脂部に灯油、ガソリン、有機溶剤などが付着した場合には、放置せず、速やかにふき取ってください。変色の原因となります。
- 玉砂利のご使用につきましては、防水層を傷つける可能性の有無、排水路の妨げにならないかなど事前にご確認ください。玉砂利の上に重量物を載せたり人が歩行するなどは、床の防水層を傷つける原因となりますのでお避けください。
- 土などの柔らかい場所に敷設する場合は、使用状態により、凹凸になる可能性がありますので、コンクリート下地など平らで強固な下地に設置してください。

安全のために必ずお守りください。

ご使用の前に、この「安全・快適にご使用いただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

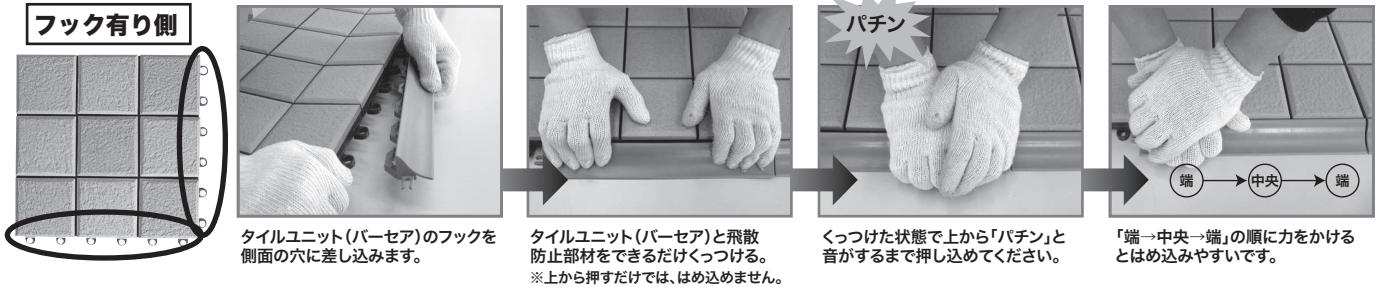
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

飛散防止部材の取り付け手順

1. 飛散防止部材（平）の取り付け方

はじめに、飛散防止部材を取り付けるタイルユニット（パーセア）の側面をご確認ください。

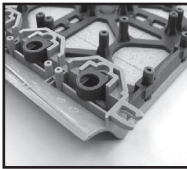
A. タイルユニット（パーセア）のフック有り側と連結する場合



－きちんと取り付けできているかをCHECK!－

タイルユニット（パーセア）の裏面で確認できます（下図参照）。うまくいかない場合は、タイルユニット（パーセア）を裏返した状態で、飛散防止部材を取り付けてください（右下図参照）。その際は、ほかのタイルユニットとの連結を1度外してください。

○ 正しい状態



× 不完全な状態

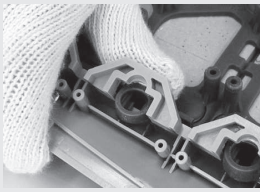


うまくはめ込めない場合



－連結の外し方－

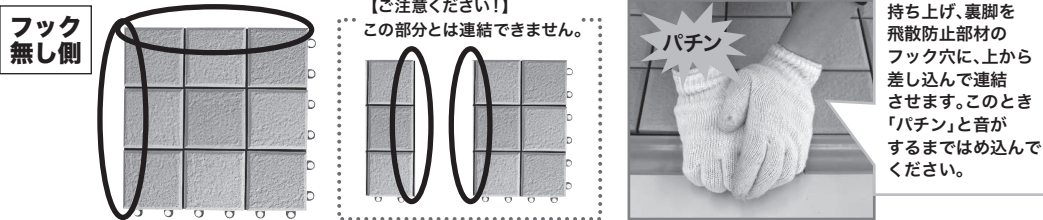
間違えた時など連結を外す場合は裏返した状態で飛散防止部材のフックに指を引っ掛けて1つずつ外します。



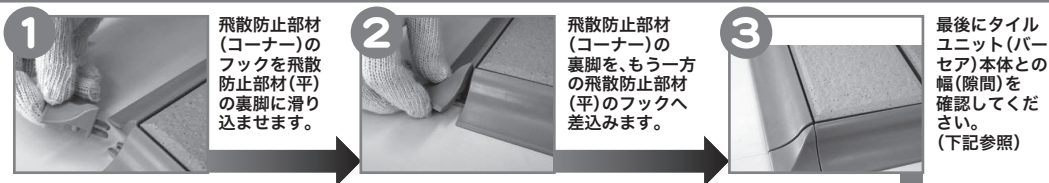
⚠ 警告

- 飛散防止部材は、必ずタイルユニット（パーセア）と連結してください。幅調整材と連結すると、性能が発揮されません。
- 飛散防止部材は、タイルユニット（パーセア）の切断面とは連結できません。切断面と連結すると性能が発揮されません。切断したタイルユニット（パーセア）は建物側（飛散防止部材をつけない方）に設置してください。
- 飛散防止部材は、長手方向には切断できません。切断すると切断面から風が入り込み、性能が発揮されません。
- 飛散防止部材は、下部から風が入り込むと性能が発揮されません。よって排水溝の上など、下部に隙間ができる場所には設置しないでください。

B. タイルユニット（パーセア）のフック無し側と連結する場合



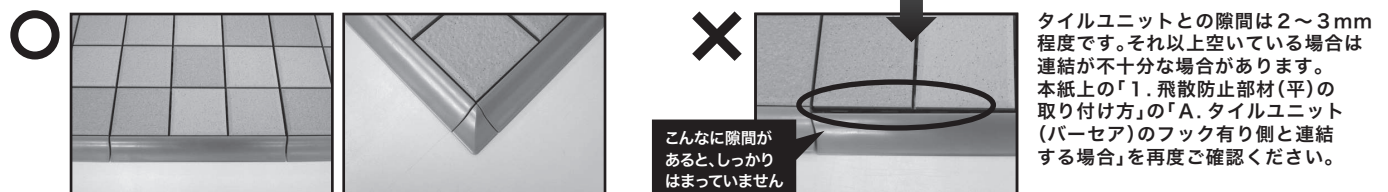
2. 飛散防止部材（コーナー）の取り付け方



設置前にご確認ください



3. 完成



TOTO

TOTO 株式会社

商品のお問い合わせ・ご相談は

一般のお客様は **お客様相談室へ** ☎ **0120-03-1010**
(FAX) 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00(夏期休暇・年末年始を除く)
※携帯電話・PHSからのご利用は…………… **093-951-2526** (有料) へ

TOTOホームページ

商品情報、リフォーム情報、お近くのショールームの地図など、TOTOに関する詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.toto.co.jp>